



上山型温泉クアオルト構想

平成25年8月
上 山 市



はじめに



本市は、今年開湯555年を迎える歴史ある温泉や良質な果物が四季を通して育つ気候と土地、そして樹氷で名高い蔵王連峰や里山などの自然環境に恵まれた場所であり、135年前に当地を訪れたイギリス人女性旅行家イザベラ・バードも上山の美しい景色と人々のもてなしに感動し、「健康的な保養地となるであろう」と称賛の声を残しております。

このような豊かな地域資源に囲まれた本市では、平成20年度の内閣府「地方の元気再生事業」を足がかりに、滞在型の新たな健康保養地を目指し、「上山型温泉クアオルト事業」を市政の重要施策に位置付け、温泉街に近い里山や標高1000mの蔵王高原坊平に我が国初となるドイツ・ミュンヘン大学認定のウォーキングコースを設定し、気候性地形療法を取り入れたウォーキングを主軸に据えながら専任ガイド「蔵王テラポイント」を養成し、「いつでも、だれでも、一人でも」参加できるウォーキングイベントを毎日開催してきました。

また、地元食材を活かしたクアオルト弁当やクアオルト飴などの商品開発、温泉の利活用、地域医療との連携など、多岐にわたる事業を展開してきました。

さらに、広域連携として、健康保養地の形成に先進的に取り組んでいる大分県由布市、世界遺産である熊野古道を活かしたヘルスツーリズムに取り組む和歌山県田辺市とともに、滞在型の健康保養地づくりを推進してきました。

こうした活動が認められ、平成24年3月に日本ヘルスツーリズム振興機構の『第4回ヘルスツーリズム大賞』を受賞するなど、多方面から評価をいただいているところであります。

そして、このたび「市民の健康増進」と「交流人口の拡大」をより一層図るため、改めてこれまでの取り組みを見直し、「健康」・「観光」・「環境」の3つの分野を柱に据え、「心と体がうるおうまち」を基本理念としたまちづくりの指針となる「上山型温泉クアオルト構想」を策定しました。

本構想を実現するためには、市民・企業・団体、関係機関の皆様とともに、全市を挙げての取り組みが必要となりますので、皆様のより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

平成25年8月

上山市長 横戸 長兵衛



目次

本編

1	かみのやまを訪れたある旅行者の日記	1
2	「心と体がうるおうまち かみのやま」未来予想図	2
3	クアオルトリーフ(概念図)	3
4	上山市を取り巻く社会環境	4
5	位置付けと基本姿勢	7
6	基本理念と3つの柱	8
7	目指すべき方向	9
8	リーディングプロジェクト	10
(1)	クアオルトウォーキング3万人プロジェクト	11
(2)	温泉健康施設プロジェクト	12
(3)	楽しくいきいき健康プロジェクト	13
(4)	ワクワク温泉城下町プロジェクト	14
(5)	かみのやまの食のブランド化プロジェクト	15
(6)	うるおい環境プロジェクト	16
9	クアオルトの概要	17

参考資料

1	これまでの取り組み	18
2	温泉クアオルト研究会	21



1 かみのやまを訪れたある旅行者の日記

2022年(平成34年)10月9日

蔵王連峰の麓に位置する上山は、ドイツにある健康保養地からまちづくりのヒントをもらった健康と保養のまちである。

このまちの住民は、歩いたり、走ったり、登ったり、とにかく健康には気を遣う。笑っている人に良く出会う。三吉山のクアオルトコースをウォーキングしているというお母さんと会ったが、年齢を聞いてびっくり、今年で72歳ということなのだが、どう見ても60歳くらいにしか見えない。「何で、そんなに若く見えるのですか」と尋ねたら、「毎日楽しくウォーキングをして、いつも美味しい果物を食べているから」だそうで、会社を定年退職したあと、知り合いの果樹園が経営しているカフェを手伝っているそうだ。

果物が美味しくなるには、土壌の良さはもちろん、昼と夜の温度差が大きいことが大切だそうで、上山がある村山盆地は、その条件を完璧に満たしているそうだ。初夏のさくらんぼ、夏のぶどう、秋のラ・フランス、冬の紅干し柿、季節ならではの果物が上山の自慢になっている。

この果物をお目当てにした「かみのやまふるさと会員」は、とうとう1万人を突破したそうだ。「かみのやまふるさと会員」は、年会費制で四季折々の果物が自宅に届くシステムで、関東ばかりでなく関西、九州からの申込者も多い。市の担当者によると、最初は地元出身者の申込みが多いのではと思っていたが、実際はそうでない人の申込みが圧倒的に多いそうだ。会員には、定期的にかみのやま温泉の優待券が送られていることもあり、上山を訪れる観光客は、年々増加している。有名旅行サイトのアンケートでは、「泊まって良かった温泉ランキング」東日本第1位になったそうだ。

さらに、駅から無料シャトルバスで30分ほどの標高1000mの蔵王高原坊平へ行ってみれば、一転して緑あふれる自然が広がり、トレッキングやランニング、ウォーキングをしている人たちで賑わっていた。

子どもからお年寄りまで、地元の家族連れもいれば、都会から涼を求めに来た観光客もいるし、クロスカントリーコースなどを使って、トレーニングに励む有名アスリートから地元のスポーツ少年団の子どもたちまでいた。

蔵王高原坊平は余暇を楽しむ場、健康づくりの場として全国的に知られているが、競技力を高めるための高地トレーニングのメッカとしても有名で、これまで多くの大学生や実業団チームが合宿に訪れているそうだ。蔵王高原坊平という雄大な自然が、まさに来訪者の幸せと夢を育んでいた。

そうそう、忘れてならないのは、市街地にある温泉健康施設、テルメ。市をあげて取り組んでいる「上山型温泉クアオルト事業」の拠点施設で、入浴だけでなく、介護予防やリハビリなど温泉を活用した水中運動の機能も備えているようだ。

実際に、まちなかに戻ってテルメで汗を流す。子どもからお年寄りまで、世代を越えてみんながゆったりのにんびり過ごしている様子がとても印象的で、改めて上山の豊かさを実感した。

1泊では足りない。今度は、3泊で来よう。

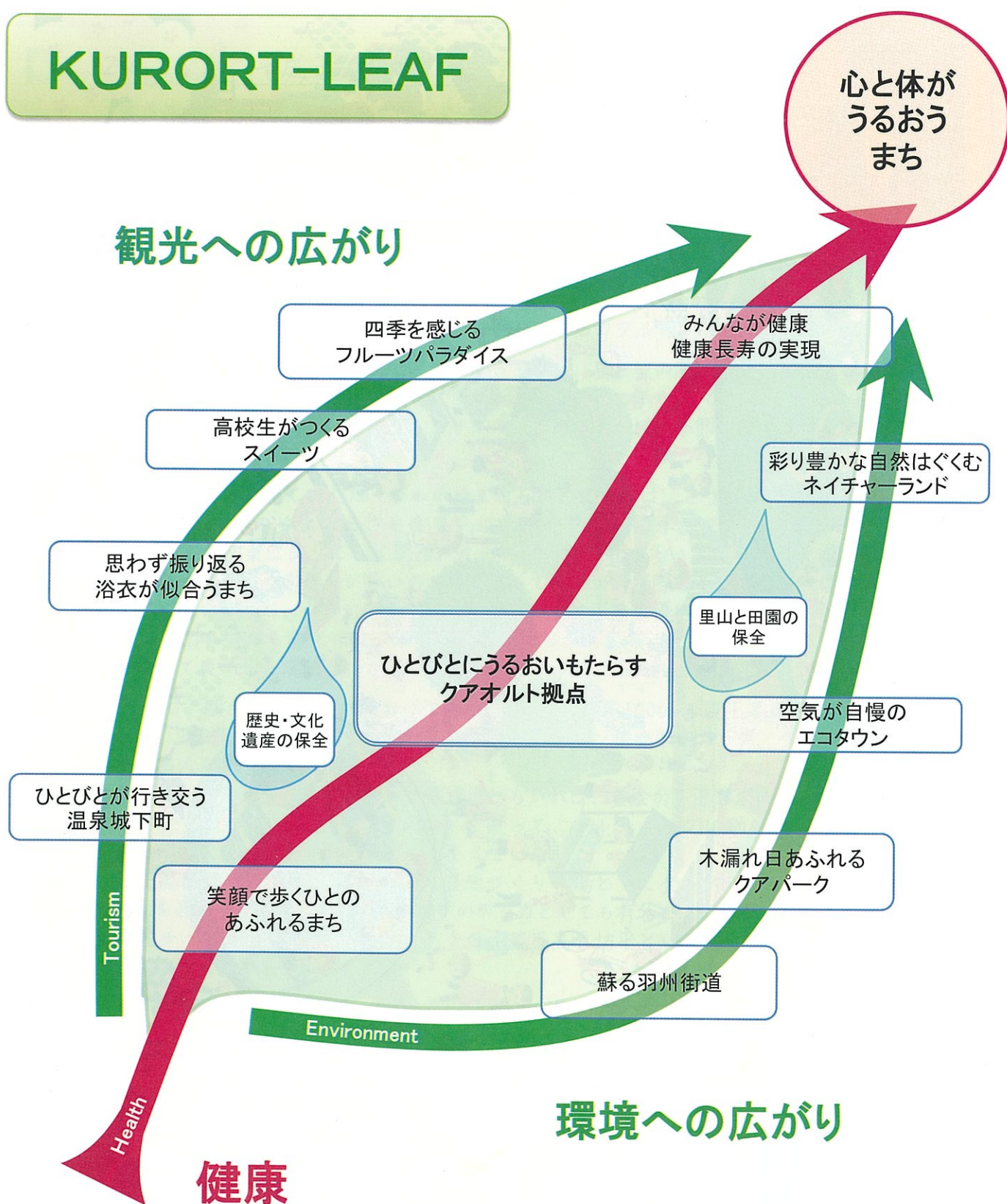
2 「心と体がうるおうまち かみのやま」 未来予想図





3 クアオルトリーフ(概念図)

KURORT-LEAF

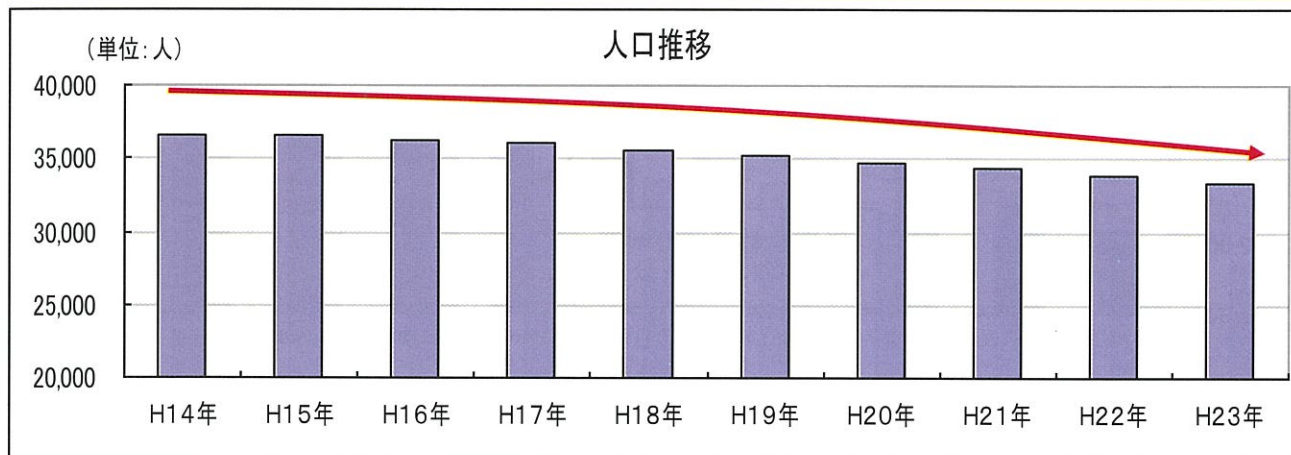




4 上山市を取り巻く社会環境（1）

人口減少

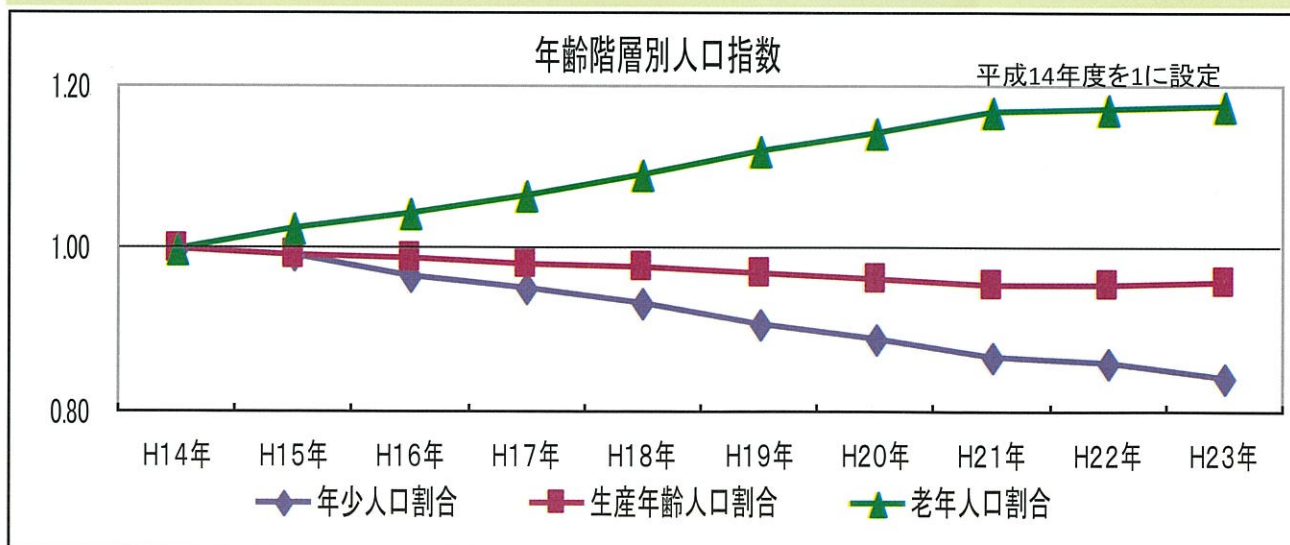
10年前と比較して、人口は約1割減少



資料：国勢調査・山形県統計企画課

少子高齢化の進展

老年人口が上昇し、年少人口・生産年齢人口が低下



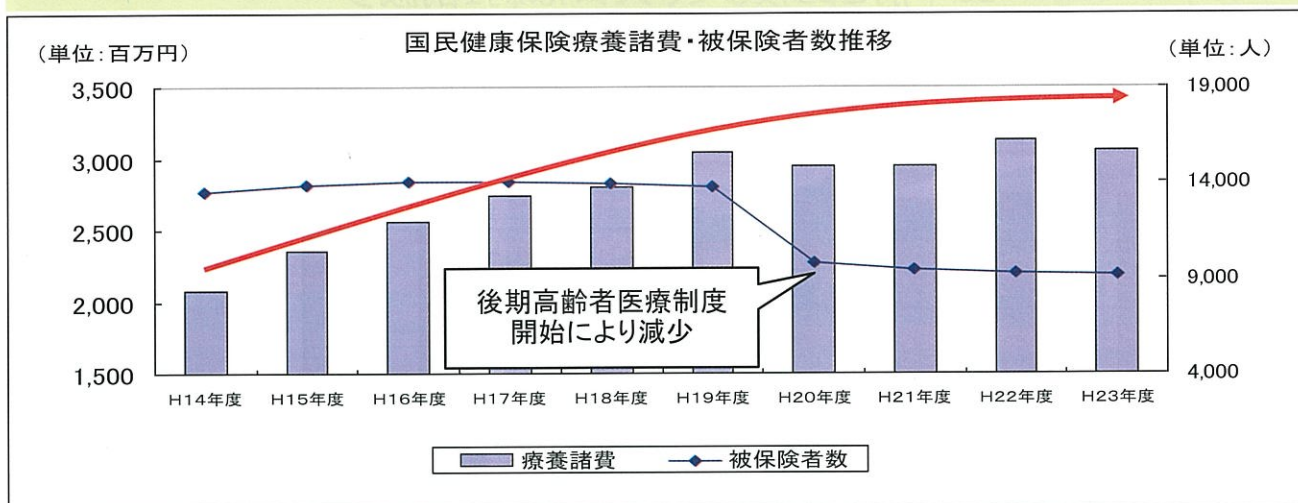
資料：国勢調査・山形県統計企画課資料を基に算出



4 上山市を取り巻く社会環境（2）

医療費負担の増大

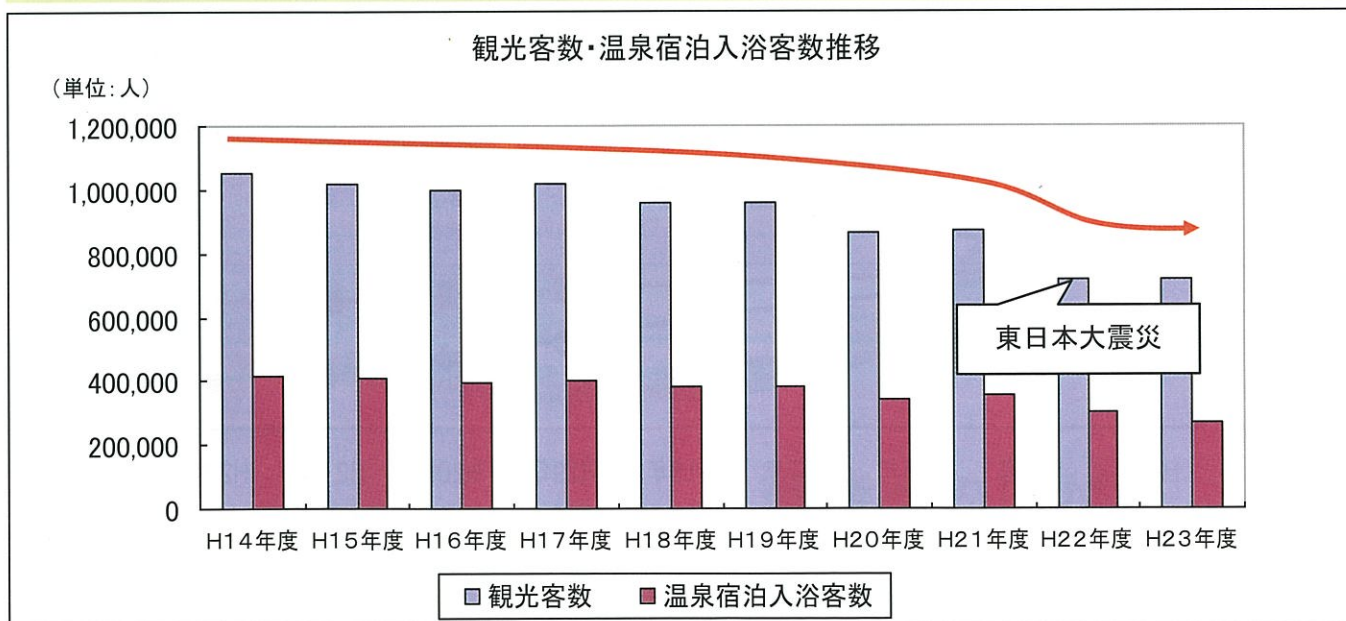
人口は減少しているが、療養費は依然として高止まり



資料: 上山市健康推進課

観光客の減少

東日本大震災の影響もあり、観光客数・温泉宿泊入浴客数ともに減少

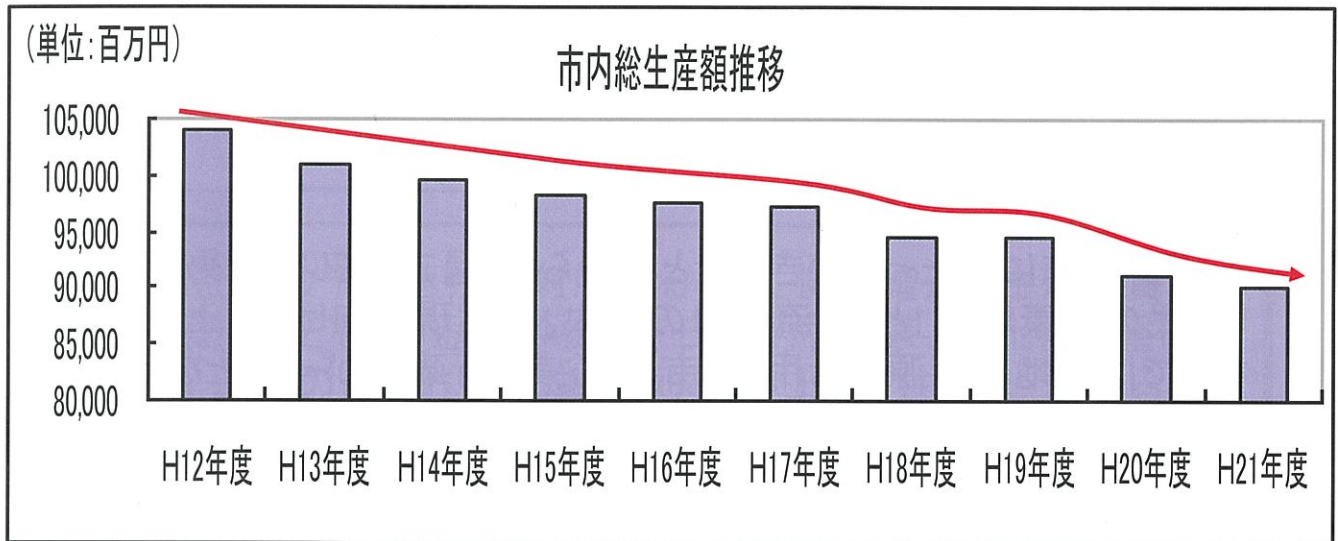


資料: 上山市観光課・上山市税務課

4 上山市を取り巻く社会環境 (3)

産業の低迷

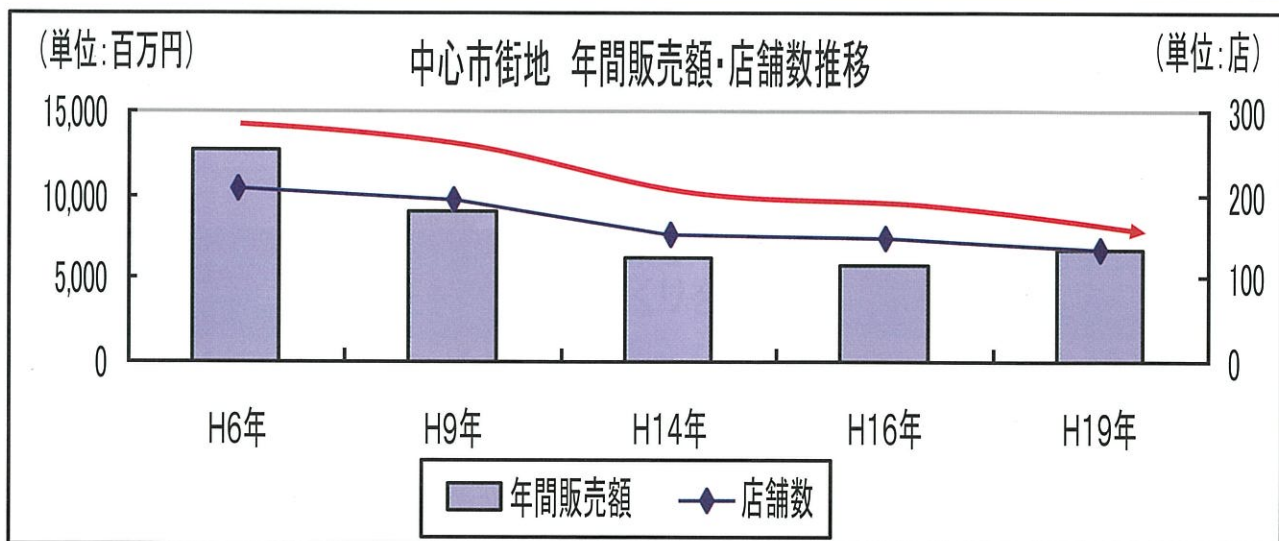
市内総生産額は年々減少し、産業が低迷



資料:市町村民経済計算

中心市街地の空洞化

年間販売額は平成6年の半分まで落ち込み、店舗も減少の一途



資料:商業統計調査



5 位置付けと基本姿勢

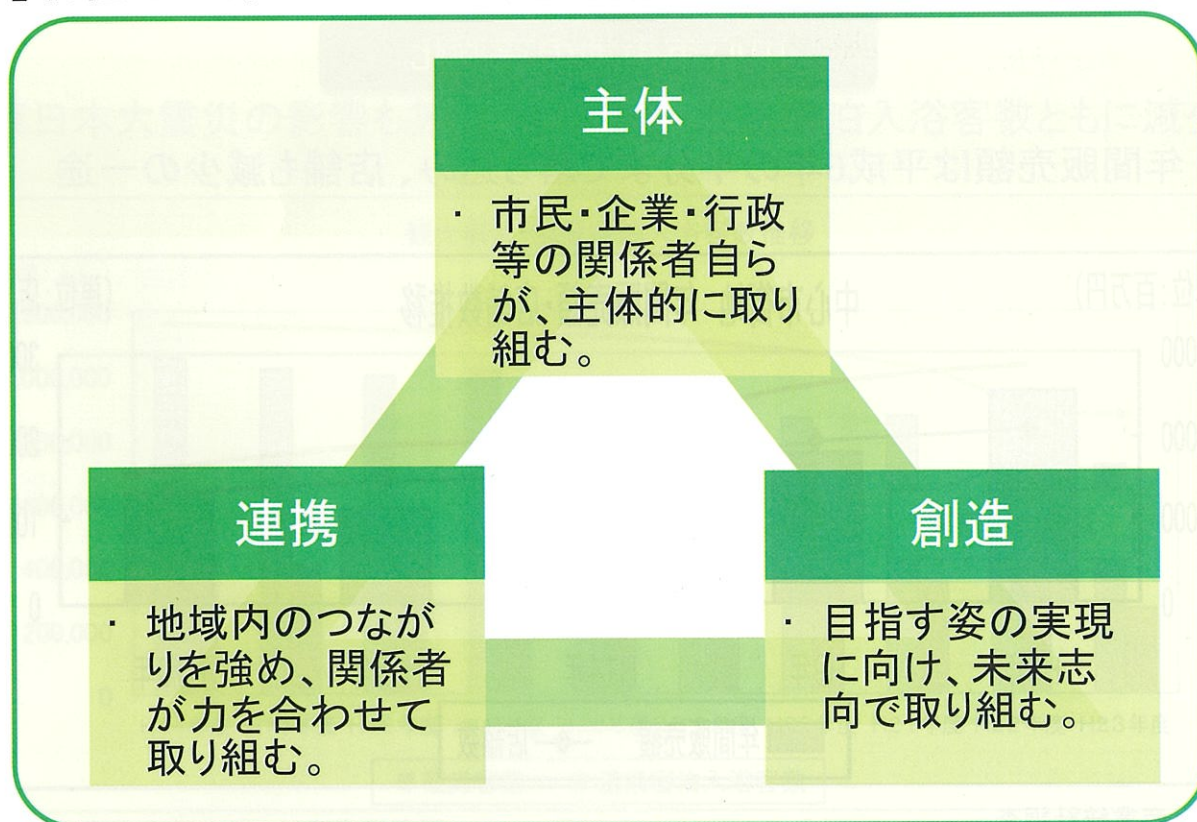
【上山市の諸課題】

- 人口減少と少子高齢化の進展
- 観光客の減少
- 医療費負担の増大
- 産業の低迷
- 中心市街地の空洞化

【本構想の位置付け】

市民が将来にわたっていきいきと自分らしく過ごしていくために、「市民の健康増進」と「交流人口の拡大」の実現に向けて、上山ならではの地域資源を活用し、市民・企業・行政等が一体となって取り組む。

【取組みにあたっての基本姿勢】





6 基本理念と3つの柱

【基本理念】

質の高い健康保養地として地域資源を磨きながら
ひとびとの“心と体がうるおうまち”をつくる

高齢化社会の予防医療に対応するなど、健康増進と生活の質の向上を図るとともに、歴史や伝統、日本的な温泉、文化を尊重しながら、里山等の恵まれた地域資源を磨き上げ、住む人・訪れる人すべてのひとびとの“心と体がうるおうまち”をつくる。

3つの柱

健康

地域資源を活用した健康増進策を確立し、ひとびとの心身の充実を図る。

観光

恵まれた多くの地域資源を磨き、長期滞在型の観光都市を目指し、交流人口を拡大する。

環境

自然環境の保全に努め、地域資源と調和した美しいまちづくりを推進する。

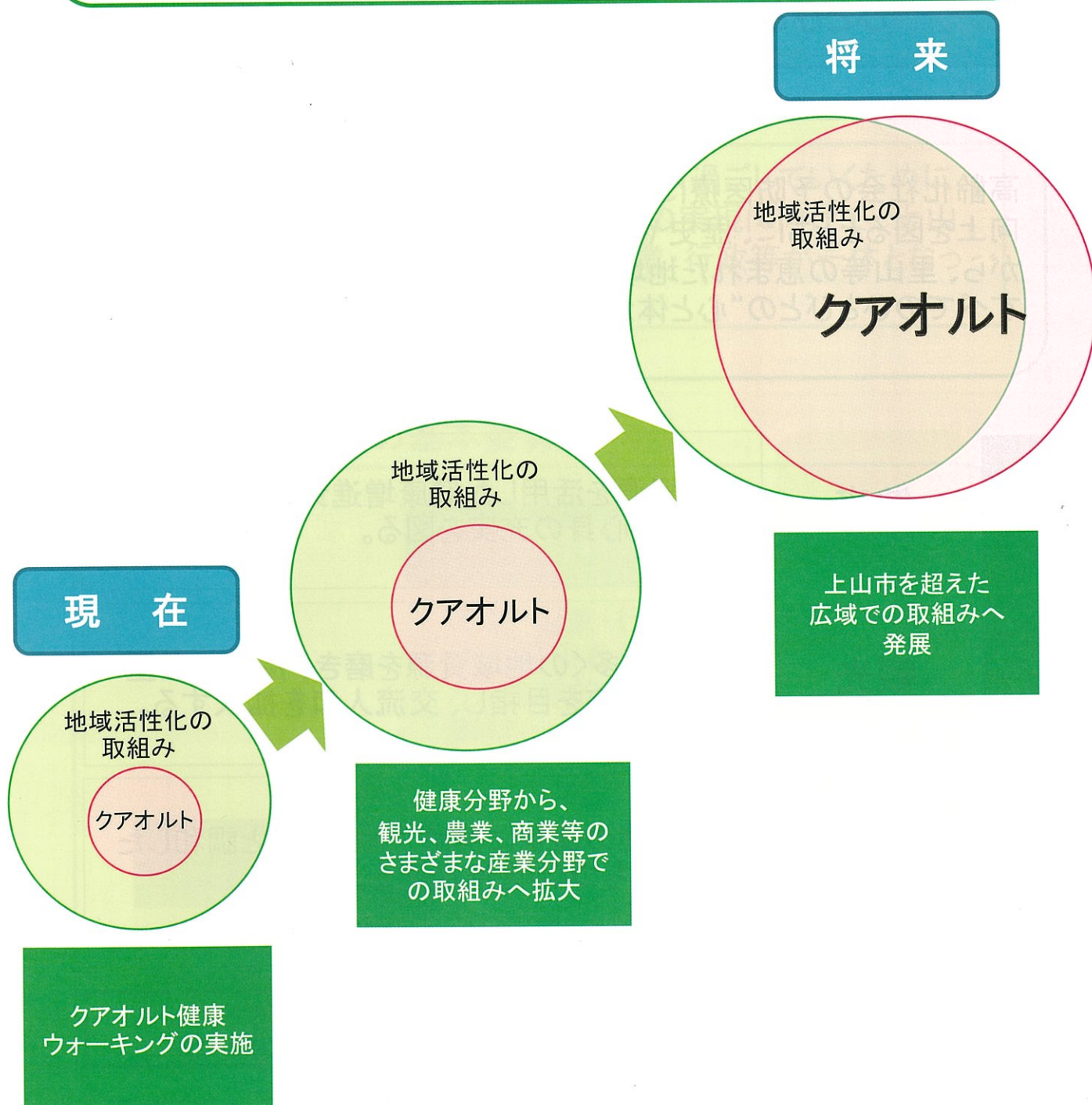
目標年度：平成34年度（2022年度）



7 目指すべき方向

構想は、クアオルト健康ウォーキングだけにとどまらず、観光や農業・商業などさまざまな産業への広がりを持つ地域活性化の原動力としていく。

将来的には、上山市を超えた広域での取組みにまで広がっていく。



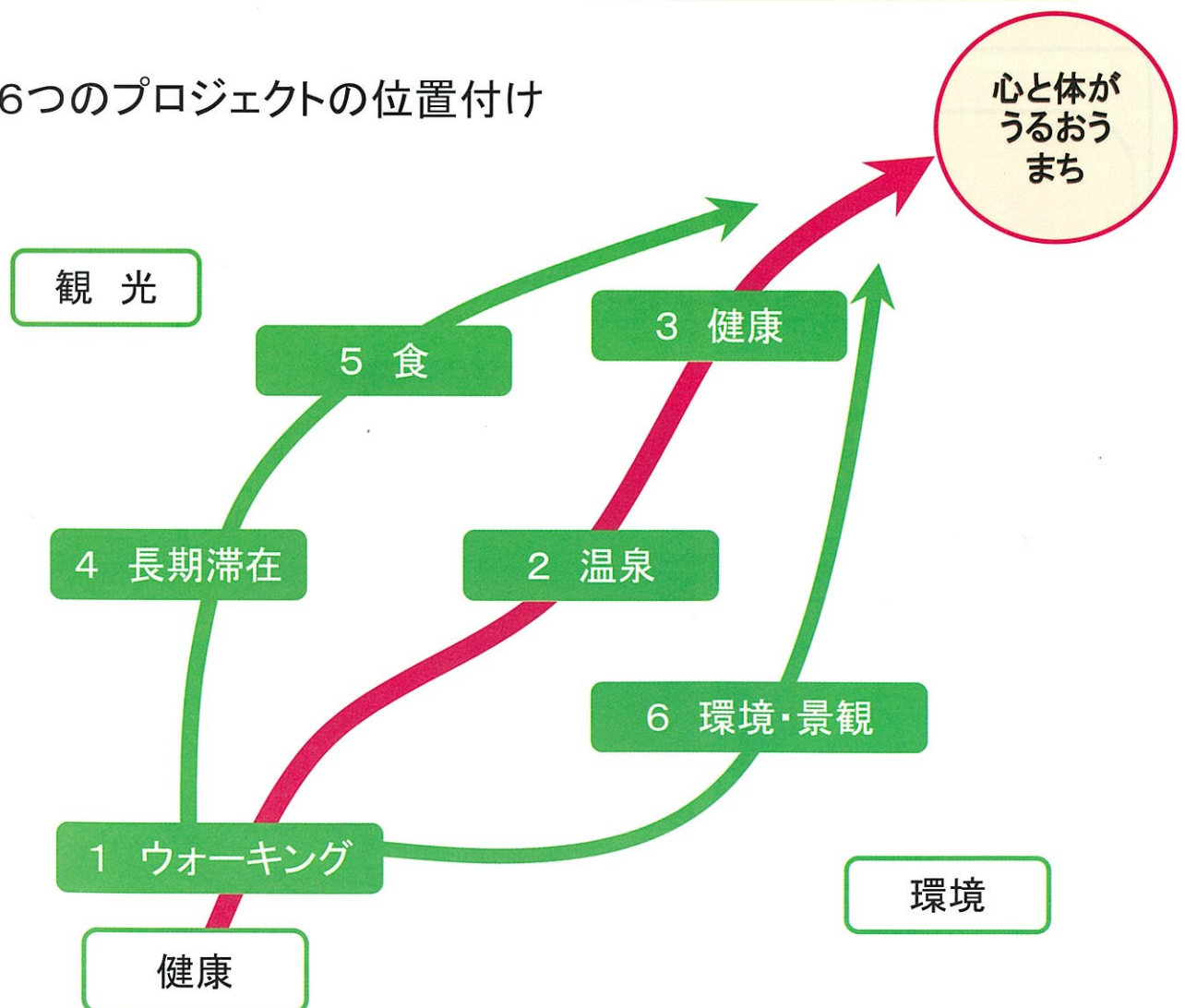


8 リーディングプロジェクト

「心と体がうるおうまち」を実現するため、「健康」・「観光」・「環境」の3つの分野に位置付けた6つのリーディングプロジェクトを実施する。

プロジェクト名	主な内容
1 クアオルトウォーキング3万人プロジェクト	ウォーキングの推進、クアオルトのPR
2 温泉健康施設プロジェクト	温泉健康施設の建設
3 楽しくいきいき健康プロジェクト	医療機関等との連携による健康増進
4 ワクワク温泉城下町プロジェクト	長期滞在の促進
5 かみのやまの食のブランド化プロジェクト	かみのやまの食のブランド確立
6 うるおい環境プロジェクト	自然環境保全、景観づくり

6つのプロジェクトの位置付け



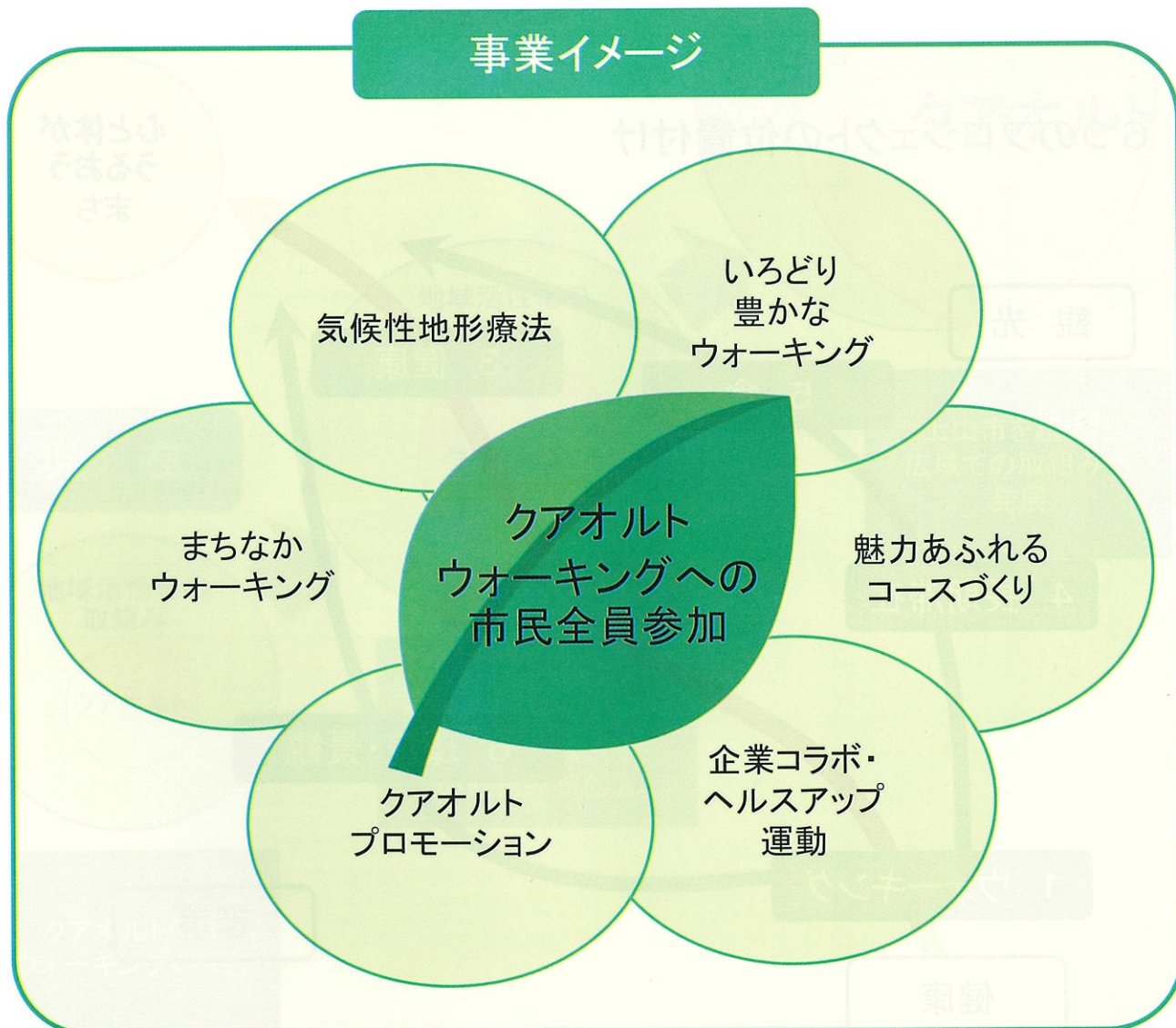


(1) クアオルトウォーキング3万人プロジェクト

市民全員がクアオルトウォーキングに参加し、継続的に健康維持・増進への取り組みを行うことを目指します。

- 1 クアオルトウォーキングの浸透、習慣化を図る。
- 2 「いつでも、だれでも、一人でも」できる環境を整備する。
- 3 観光・医療・教育など、さまざまな分野との連携を図る。

事業イメージ

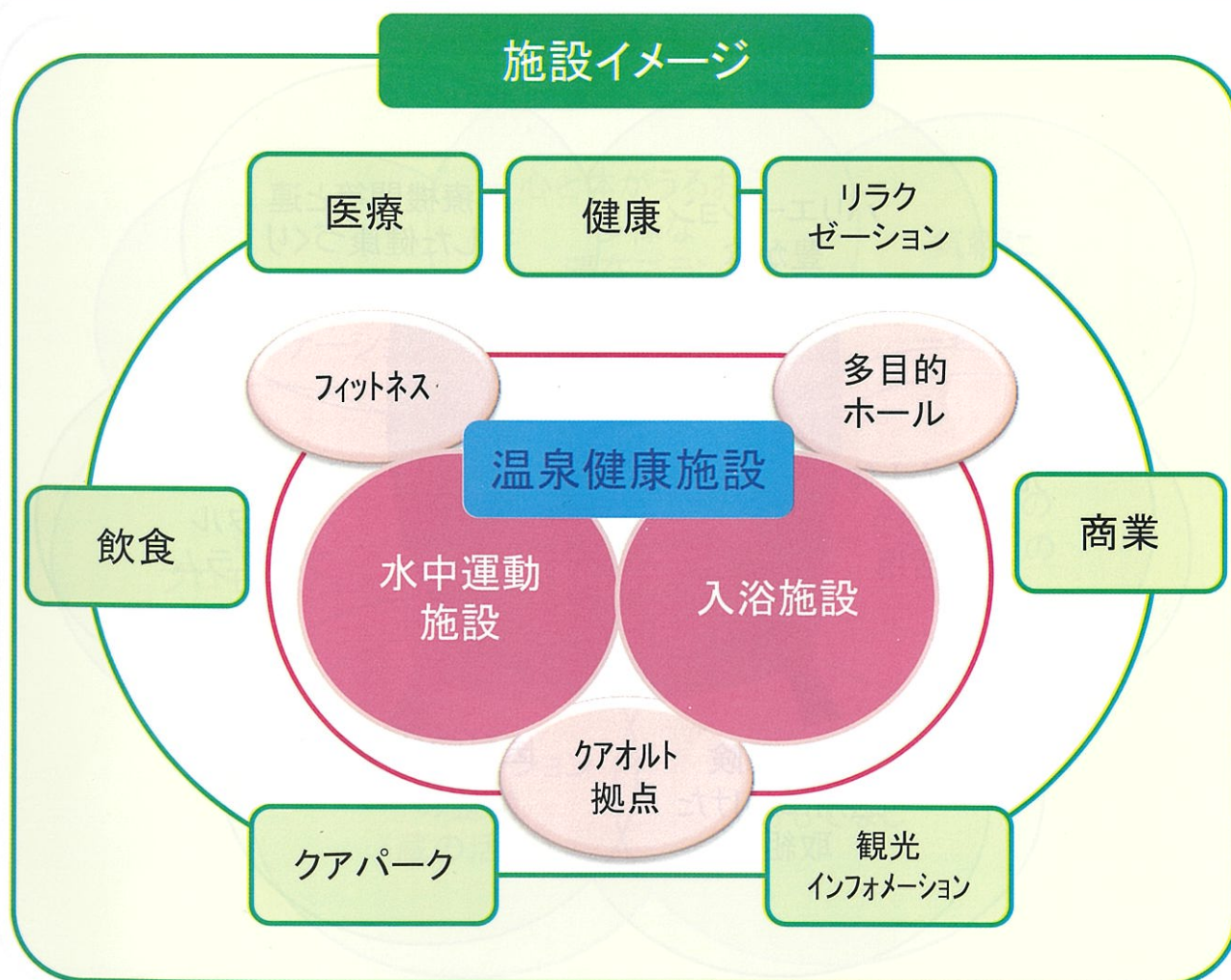




(2) 温泉健康施設プロジェクト

上山型温泉クアオルトの拠点として、ひとびとの健康維持・増進を図るための機能を備えた温泉健康施設の建設を目指します。

- 1 産学官金による調査・研究を行いながら、施設の機能・活用方法及び施設の整備・運営体制の検討を行う。
- 2 上山型温泉クアオルトの発信拠点としての活用のほか、医療機関等との連携による運動療法など各種健康療養サービスの提供を目指す。
- 3 地域住民や来訪者の健康維持増進を図るため、クアオルト健康ウォーキングと連携した温泉活用型健康施設の建設を目指す。



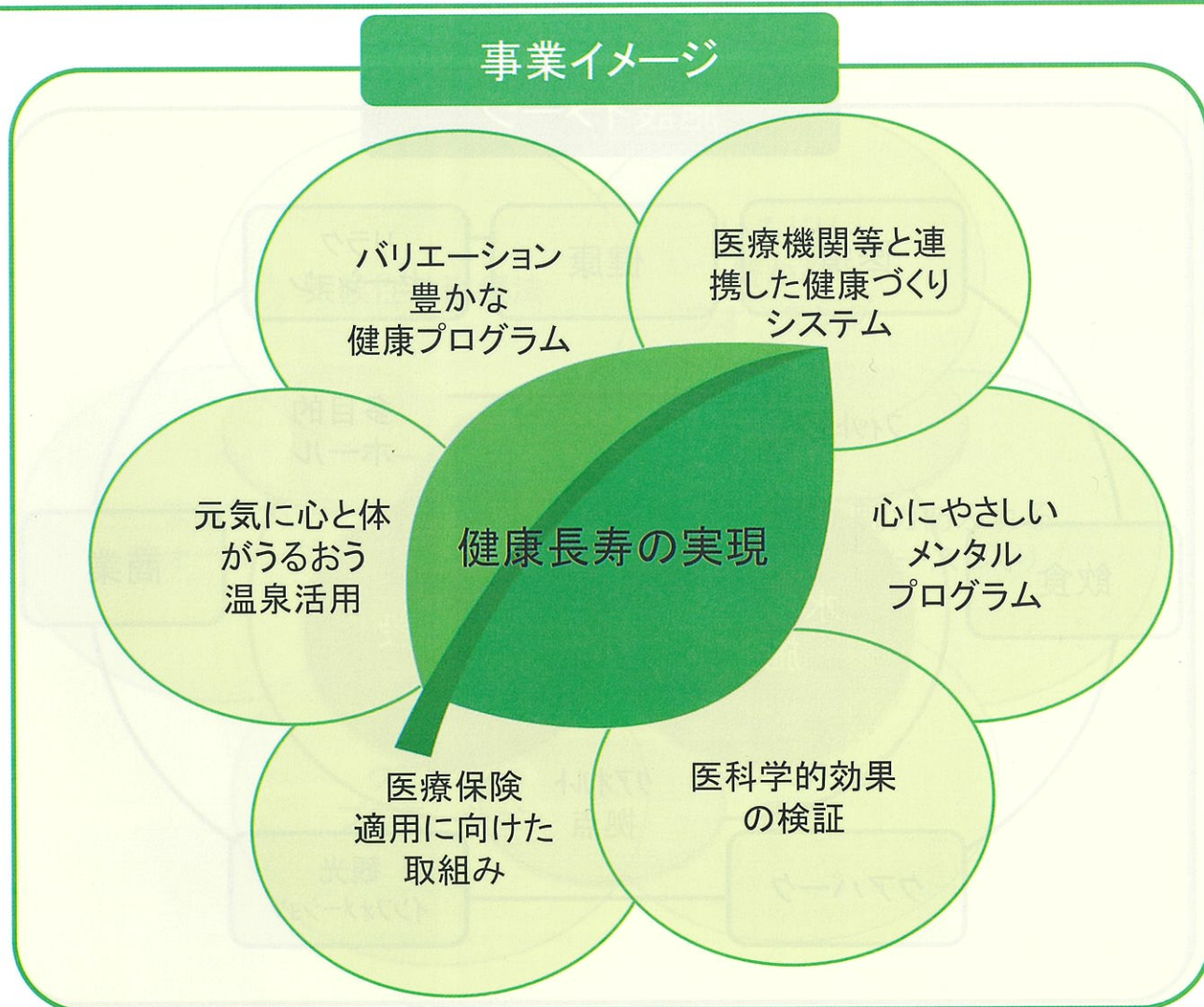


(3) 楽しくいきいき健康プロジェクト

健康づくりのため、上山の里山や温泉等を活用し、地域医療と連携しながら市民の健康長寿の実現を目指します。

- 1 市民がいきいきと自分らしく過ごすため、子どもから高齢者まで活用できる健康プログラムを作る。
- 2 健康レベルに応じた運動・温泉・食などの上山の自然を活かし、医療機関等との連携により予防から治療までを含めた健康づくりシステムを構築する。
- 3 健康への取り組みを通じて、家族とのつながり、人と人との絆を深めるプログラムを展開する。

事業イメージ



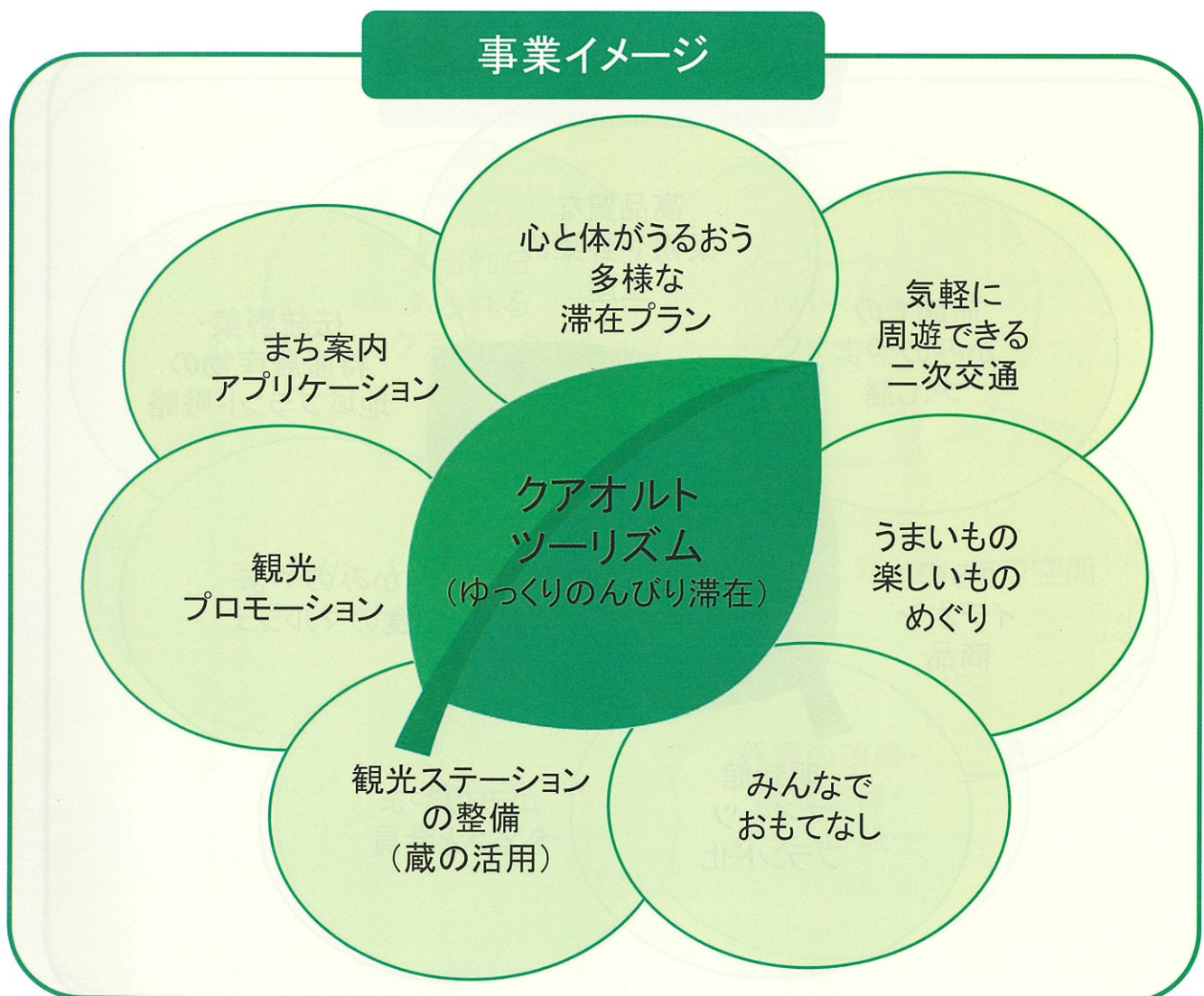


(4) ワクワク温泉城下町プロジェクト

お城や温泉、自然、ウォーキング、果樹園などの地域資源を結ぶ仕組みを構築し、市内を回遊してもらうことで滞在時間の長期化を目指します。

- 1 温泉城下町と恵まれた自然、クアオルトウォーキング、実り豊かな果樹園など地域資源を結ぶ仕組みをつくる。
- 2 健康プログラムの活用を進め、県内の他地域と連携し、滞在時間の長期化を促す。
- 3 市民が楽しめる視点を大切にしながら、市民と来訪者の交流を促し、市民の観光に対する意識の高揚(おもてなしの醸成)を図る。

事業イメージ



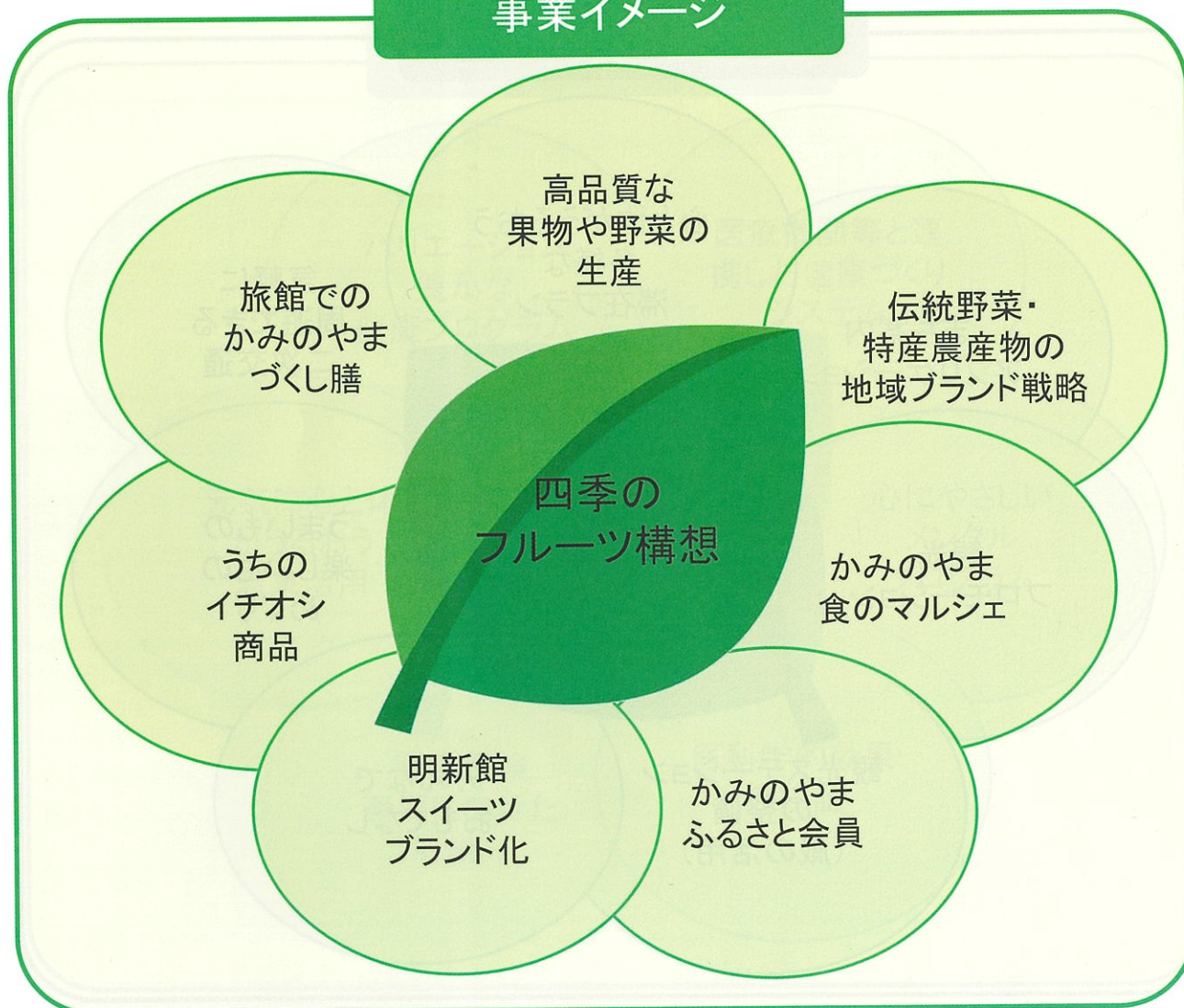


(5) かみのやまの食のブランド化プロジェクト

四季折々の果物や野菜をPRするとともに、第一次から第三次までの全産業に波及効果をもたらし、食のかみのやまブランドの確立を目指します。

- 1 かみのやまの地形・気候は果物づくりには最適で美味しいものができるとともに、伝統野菜にも強みがあるため、その素材を最大限に活かしていく。
- 2 6次産業化を図り、食の総合的な魅力を高めていく。
- 3 食の魅力で、かみのやまの認知度を高めていく。

事業イメージ



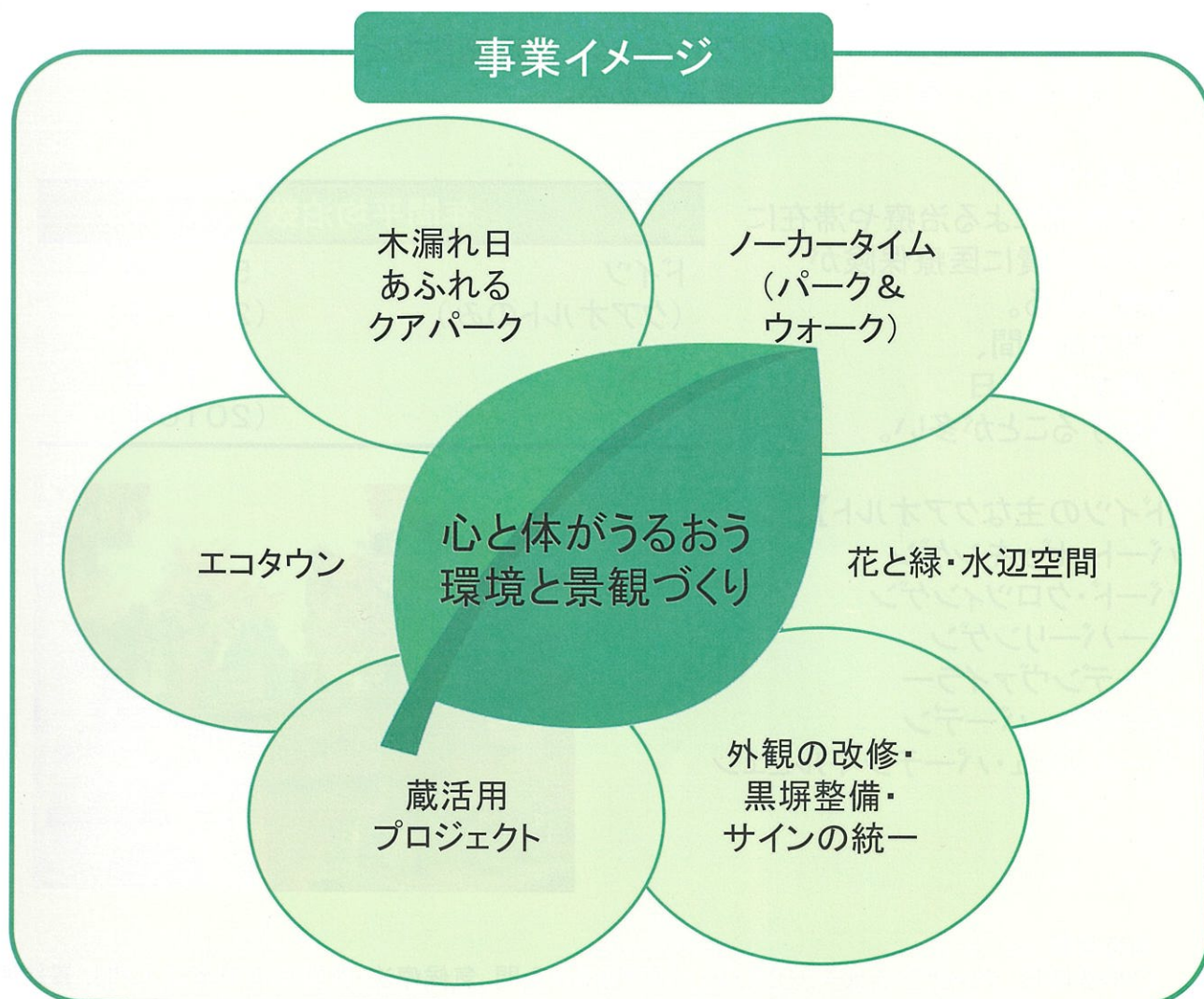


(6) うるおい環境プロジェクト

豊かな自然環境を活かしながら、歴史を感じる温泉城下町としての魅力を高め、ひとびとの心と体がうるおうまちを目指します。

- 1 心身の癒しやリフレッシュができる環境を活かし、その魅力を高めていく。
- 2 市民の地域に対する誇りを醸成し、住みたいまち・訪れたいまちに磨きをかける。
- 3 自然と調和した歴史的景観の整備と緑の景観づくりに取り組む。
- 4 歴史的建造物を保全・活用し、羽州街道や市街地のまち並みをブラッシュアップしていく。

事業イメージ





9 クアオルトの概要

クアオルト:ドイツ語で、健康保養地、療養地を意味する。

クアオルトはドイツの制度により認定された地域を示す。クアオルトとは高品質な長期滞在型の療養地、保養地であり、ドイツ国内で3%(374)の自治体のみが認定されている。

温泉施設のテルメや野山を歩く気候性地形療法などの療養プログラムを活用しながら、医療のみならず、居住する人が健康になることはもちろん、訪れる人も健康になる健康保養地として地域が発展している。

【認定条件】

- 1 自然の治療薬か自然療養のプログラムがある(専門医がいること)。
- 2 気候がよい。空気がきれい。騒音が少ない。汚染がない。
- 3 景色、景観がよい。
- 4 療養、保養施設(テルメやクアパーク、交流施設など)がある。
- 5 医科学的に鑑定された治療法がある。

【特権・特徴】

自然療法による治療や滞在にかかる経費に医療保険が適用される。
治療で3週間、
保養で3～7日
滞在することが多い。

年間平均泊数

ドイツ (クアオルトのみ)	5. 26泊 (2009年)
日本	2. 17泊 (2010年)

【ドイツの主なクアオルト】

バート・ゼッキンゲン
バード・クロツィンゲン
ユーバーリンゲン
バーデンヴァイラー
バーデン・バーデン
ガーミッシュ・パーテンキルヒェン



参考文献

○小関信行、アンゲラ・シュー、(2012)、「クアオルト入門 気候療法・気候性地形療法入門」、書肆犀

2020年
10月
10日

これまでの取り組み

平成20年7月11日	内閣府「地方の元気な未来」発表資料
平成20年8月6日	上山市観光振興局まちづくり協議会設立
平成20年9月	気候地形ワークショップ（西山・黒山・東王滝渓谷の平）（メインセッション大野山定）
平成20年10月6日～31日	気候地形ワークショップ「グラムの気候地形」（西山・東王滝渓谷の平）
平成20年12月5日 ～平成21年1月26日	基幹施設整備のたのしみワークショップ（西山）
平成21年1月12日～14日	基幹施設整備のたのしみワークショップ（西山）

参 考 資 料

平成21年5月21日	内閣府「地方の元気な未来」発表資料
平成21年6月2日	上山市観光振興局まちづくり協議会設立
平成21年6月	気候地形ワークショップ（西山・黒山・東王滝渓谷の平）（メインセッション大野山定）
平成21年6月	気候地形ワークショップ「グラムの気候地形」（西山・東王滝渓谷の平）
平成21年8月22日	基幹施設整備のたのしみワークショップ（西山）
平成21年9月	基幹施設整備のたのしみワークショップ（西山）
平成21年9月14日～11月6日	気候地形ワークショップ「グラムの気候地形」（西山・東王滝渓谷の平）
平成21年9月19日・20日・10月21日・4日	気候地形ワークショップ「グラムの気候地形」（西山・東王滝渓谷の平）
平成21年9月26日・27日	気候地形ワークショップ「グラムの気候地形」（西山・東王滝渓谷の平）
平成21年10月24日・11月5日	気候地形ワークショップ「グラムの気候地形」（西山・東王滝渓谷の平）
平成21年11月12日～14日	気候地形ワークショップ「グラムの気候地形」（西山・東王滝渓谷の平）
平成21年11月17日～20日	気候地形ワークショップ「グラムの気候地形」（西山・東王滝渓谷の平）
平成22年3月13日	気候地形ワークショップ「グラムの気候地形」（西山・東王滝渓谷の平）
平成22年4月1日	気候地形ワークショップ「グラムの気候地形」（西山・東王滝渓谷の平）
平成22年4月17日～12月20日	気候地形ワークショップ「グラムの気候地形」（西山・東王滝渓谷の平）
平成22年5月28日	気候地形ワークショップ「グラムの気候地形」（西山・東王滝渓谷の平）
平成22年7月18日・19日・10月3日・3日	気候地形ワークショップ「グラムの気候地形」（西山・東王滝渓谷の平）



1 これまでの取組み

年度	年 月 日	実 施 内 容
平成20年度	平成20年7月11日	内閣府「地方の元気再生事業」採択通知
	平成20年8月8日	上山市温泉保養地まちづくり協議会設立
	平成20年9月	気候地形療法コース(西山・葉山・蔵王高原坊平) ミュンヘン大学認定
	平成20年10月6日～31日	気候地形療法プログラムの効果検証(西山・蔵王高原坊平コース)
	平成20年12月5日 ～平成21年1月26日	旅行商品造成のためのワークショップ開催
	平成21年1月3日～14日、20日、21日	温泉入浴アドバイザー 蔵王上山 温泉セラピスト養成研修開催(修了者 50 名)
平成21年度	平成21年3月15日、16日	気候地形療法シンポジウム ○内容 シュー教授ビデオ講演、効果検証結果報告、阿岸祐幸教授講演、由布院、熊野古道実践者のパネルディスカッション ウォーキング実演講習(西山コース)
	平成21年5月21日	内閣府「地方の元気再生事業」採択通知
	平成21年6月2日	上山市温泉クアオルト協議会(改称)総会
	平成21年6月	早朝ウォーキング 葉山 開始(地域住民による自主的取り組み)
	平成21年6月	クアオルト弁当の開発募集 採択 4 社(丸内牛肉店、さくら亭、キッチンパクパク、蔵王弁当)
	平成21年8月22日	展示スペース「長屋門ギャラリー」オープン ①芸工大生・院生による企画展 「いつかみたまち」「猫町～Kという温泉街」「よってみ展」 ②市民による企画 「長屋門街角 live」「週末手づくり体験」
	平成21年9月	早朝ウォーキング 西山 開始(ガイド講座受講生による自主的取り組み)
	平成21年9月14日～11月6日	気候性地形療法と温泉療法併用による医科学的効果検証
	平成21年9月19日、20日、10月2日～4日	気候性地形療法ウォーキングガイド育成講座(認定者 15 名)
	平成21年9月26日、27日	気候性地形療法 蔵王上山全国サミット ○内容 阿岸祐幸教授講演、パネルディスカッション(由布院、熊野古道実践者、観光庁等)、気候性地形療法の実演講習
	平成21年10月24日～11月3日	気候性地形療法ウォーキングガイド育成講座 ドイツ研修(参加者 11 名)
	平成21年11月12日～14日	モニターツアー(健康づくりツアープログラム) 2泊3日の医科学的効果検証
平成22年度	平成21年11月17日～20日	気候性地形療法ウォーキングガイド育成講座 熊野古道研修(参加者 19 名)
	平成22年3月13日	市民報告会「地元を楽しもう『知って得する健康術』～健康とウォーキングと私～」 ○内容 取組報告、パネルディスカッション、ガイド認定証交付式、講話、ウォーキング(葉山コース)
	平成22年4月1日	早朝ウォーキング 定期開催開始 ○西山コース 火・水・木 午前6時30分～ ○葉山コース 毎日 午前6時50分～
	平成22年4月17日～12月20日	土日ウォーキング実施
	平成22年5月28日	気候性地形療法ウォーキングガイド組織 蔵王セラピスト協会 発足
平成22年度	平成22年9月18日、19日、10月1日、2日	気候性地形療法ウォーキングガイド育成講座(修了者 14 名、うち市民 10 名)(めでためでた♪花のやまがた観光圏推進協議会と共催)



1 これまでの取組み

年度	年 月 日	実 施 内 容
平成22年度	平成22年10月2日	上山型温泉クアオルト推進員 委嘱状交付
	平成22年10月20日～31日	気候性地形療法ウォーキングガイド（蔵王テラポイト）育成講座 ドイツ研修（参加者13名）（めでためでた♪花のやまがた観光圏推進協議会と共催）
	平成22年11月8日～10日	気候性地形療法ウォーキングガイド（蔵王テラポイト）育成講座 熊野古道研修（参加者23名）
	平成23年2月10日	めでためでた♪花のやまがた観光圏推進協議会シンポジウム ○内容 JR東日本常務取締役 見並陽一氏講演報告会 ドイツ研修、熊野研修
	平成23年3月25日	気候性地形療法ウォーキングガイド（蔵王テラポイト）認定 10名 （うち市民9名）
	平成23年3月31日	温泉入浴の効果、共同浴場PRチラシ発行
	平成23年3月31日	日本型温泉クアオルト確立に向けた3市連携パンフレット発行（由布市・田辺市・上山市）
平成23年度	平成23年4月	西山、蔵王高原坊平コースの点検及び案内看板設置、虚空蔵山コースと三吉山コースに新たな看板設置（山形県みどり環境交付金事業）
	平成23年4月9日～	毎日ウォーキング開始
	平成23年4月17日	気候性地形療法ウォーキングガイド（蔵王テラポイト）認定 3名
	平成23年5月9日	温泉クアオルト研究会設立 第1回研究会・ミニシンポジウム開催
	平成23年6月9日～10月30日	早朝ウォーキング クアの道 高野コース 開始
	平成23年7月～	ウォーキング効果測定（血液検査・体力検査）
	平成23年7月31日	クアの道ガイド 育成講座（修了者10名、うち認定1名）
	平成23年8月4日、11日、18日、25日	水中ストレッチ講座開催
	平成23年8月20日、21日、9月9日、10日	気候性地形療法ウォーキングガイド（蔵王テラポイト）育成講座（修了者14名、うち市民9名）（めでためでた♪花のやまがた観光圏推進協議会と共催）
	平成23年8月19日	観光庁からニューツーリズム育成重点地域指定
	平成23年9月～12月	クアオルト健康講座実施
	平成23年10月～	クアオルトキャンディ開発（ラ・フランス、サクランボ、モモ）
	平成23年10月～12月	「クアオルト健康ウォーキング プラス 温泉」開催
	平成23年10月2日	上山ライオンズクラブ、上山あららぎライオンズクラブ合同での西山コース整備
	平成23年10月9日～23日	札幌市立大学によるウォーキング心理学術調査
	平成23年10月23日	山形パナソニック株式会社とのコラボウォーキング開催
	平成23年10月24日～26日	気候性地形療法ウォーキングガイド（蔵王テラポイト）育成講座 熊野古道研修（参加者16名、うち市民15名）（めでためでた♪花のやまがた観光圏推進協議会と共催）
	平成23年11月18日	「クアオルト健康ウォーキング プラス 温泉、アロマ体験」実施
	平成23年11月21日	地場産農産物の旅館における使用率向上に向けた金谷ごぼうにかかる生産者と旅館関係者の交流会
	平成24年1月25日～27日	第2回 温泉クアオルト研究会 in YUFU 開催



1 これまでの取り組み

年度	年 月 日	実 施 内 容
平成23年度	平成24年1月30日	「かせ鳥 城下地図」発行
	平成24年2月20日	クアオルトに関する講演会 ○講師 東日本旅客鉄道株式会社 常務取締役 見並陽一氏
	平成24年3月21日	第4回ヘルスツーリズム大賞受賞(NPO 法人日本ヘルスツーリズム振興機構主催)
	平成24年3月27日	札幌市立大学によるウォーキング心理学的調査報告会
平成24年度	平成24年4月21日	気候性地形療法ウォーキングガイド(蔵王テラポイント) 認定 9名(うち市民6名)
	平成23年4月ー平成24年3月	クアオルト健康講座実施
	平成24年5月19日、20日、6月1日、2日	ヘルスツーリズム関係者向けプレスツアー開催
	平成24年6月14日、15日、7月14日、15日	気候性地形療法ウォーキングガイド(蔵王テラポイント) 育成講座 (修了者12名、うち市民9名) (めでためでた♪花のやまがた観光圏推進協議会と共催)
	平成24年7月ー平成25年3月	「クアオルト健康ウォーキング プラス 温泉」実施(温泉旅館は10月～)
	平成24年9月25日、26日	観光庁ニューツーリズム旅行商品造成合宿
	平成24年10月6日	上山ライオンズクラブ、上山あららぎライオンズクラブ合同での西山コース整備
	平成24年10月10日、11日	第3回 温泉クアオルト研究会 in 蔵王かみのやま 開催
	平成24年10月11日	(公財)健康・体力づくり事業財団理事長 東京医科大学名誉教授 下光輝一氏来市(視察体験、意見交換)
	平成24年10月14日、15日	東京医科大学健康増進スポーツ医学講座 主任教授 勝村俊仁氏、早稲田大学スポーツ科学学術院教授 坂本静男氏来市(視察体験、意見交換)
	平成24年11月6日、20日、12月5日	札幌市立大学・大分大学によるウォーキング心理学効果検証(まちなかと里山の比較)
	平成24年12月5日	山形銀行とクアオルト構想推進と産業振興に関し相互に連携・協力を図ることを目的に協定締結
	平成24年12月9日	「クアオルト健康ウォーキング プラス 温泉 温泉旅館でランチ&ほぐし」実施
	平成25年1月4日	三重大学 杉田正明教授訪問 意見交換
	平成25年1月4日ー3月31日	東北芸術工科大学 共同企画「かみのやま温泉開湯555年記念 かみのやま温泉クアオルト健康ウォーキング マイレージシステム 花咲かクアオルト てくてく歩(ポ) イント」実施
	平成25年1月17日	クアオルトキャンディ(ラ・フランス味)販売開始
	平成25年2月22日ー24日	気候性地形療法ウォーキングガイド(蔵王テラポイント)育成講座 熊野古道研修 参加者14名(めでためでた♪花のやまがた観光圏推進協議会と共催)
	平成25年3月7日	札幌市立大学・大分大学によるウォーキング心理学効果検証報告会
	平成25年3月11日	観光庁ニューツーリズム旅行商品造成シンポジウム事例発表
	平成25年3月14日	(公財)健康・体力づくり事業財団理事長 東京医科大学名誉教授 下光輝一氏訪問 意見交換 東京医科大学健康増進スポーツ医学講座 主任教授 勝村俊仁氏、早稲田大学スポーツ科学学術院教授 坂本静男氏訪問 意見交換
	平成25年3月14日	(公財)健康・体力づくり事業財団理事長 東京医科大学名誉教授 下光輝一氏に温泉クアオルト研究会顧問 委嘱



2 温泉クアオルト研究会

温泉クアオルト研究会とは

ドイツのクアオルトの考え方を基本に、地域資源や温泉などを活用しながら、日本の風土に合った滞在型の健康保養地づくりを推進するため、大分県由布市、和歌山県田辺市、山形県上山市の3市が中心となり平成23年度に温泉クアオルト研究会を設置しました。

温泉クアオルト研究会では、3市の温泉や食、自然環境、伝統文化などの地域資源を「健康」を中軸として連携して活用し、温泉地の新しい姿となる「日本型温泉クアオルト＝温泉健康保養地」のあり方を研究し、その取組みを進めていくものです。

健康保養地「日本型クアオルト」推進宣言

日本には、全国各地に美しい自然や数多くの温泉、また、地域それぞれに歴史や文化、食、産物などがあります。

これらの地域資源は、地域住民の生活や健康などと密接な関わりがあり、同時に地域の観光資源としても大きな魅力としてとらえることができます。

我々は、市民にも来訪者にとっても、健康的で魅力的な地域づくりが、地域の発展にもつながるものと考え、よりよい健康保養地づくりを目指し、この度、大分県由布市、和歌山県田辺市、山形県上山市の3市が連携し、「日本型クアオルト」を推進することをここに宣言いたします。

平成23年5月9日

温泉クアオルト研究会

会 長	大分県由布市長	首 藤 奉 文
副会長	山形県上山市長	横 戸 長兵衛
副会長	和歌山県田辺市長	真 砂 充 敏

取 組 み

1 設立総会

- (1) 開催日 平成23年5月9日
- (2) 会 場 東京都 都道府県会館 和歌山県東京事務所 会議室
- (3) 内 容 会の名称、役員選出、規約、3か年事業計画

2 第1回研究会・ミニシンポジウム

- (1) 開催日 平成23年5月9日
- (2) 会 場 東京都 都道府県会館 402会議室
- (3) 内 容
 - 来賓講演 「最近の観光政策と健康保養地への期待」
講師／観光庁 観光資源課長 和田 浩一 氏
 - クアオルトの説明と3市の取組み紹介
 - クアオルト宣言



2 温泉クアオルト研究会

3 第2回研究会 in YUFU

- (1) 開催日 平成24年1月26日～27日
(2) 会場 大分県由布市 健康温泉館 クアージュゆふいん
(3) 内容

- 基礎講座 ①「クアオルトとは・ドイツのクアオルト紹介」
②「3市の現状と取り組み紹介」
③まとめと分科会への提言

- 研究分科会 第1分科会「まちづくりと観光」
第2分科会「健康づくり」
第3分科会「環境と景観」

- 講演 「地域における協働の可能性」

講師／東京大学 名誉教授 大 森 彌 氏

4 第3回研究会 in 蔵王かみのやま

- (1) 開催日 平成24年10月10日～11日
(2) 会場 山形県上山市 体育文化センター
(3) 内容

- 基調講演 観光地域づくり～滞在型温泉保養地の確立に向けて～

講師／観光庁 観光地域振興部長 瀧 本 徹 氏

- セッション健康 クアオルト（健康保養地）における健康増進

- セッション観光 観光としてのクアオルト（健康保養地）の在り方

- 特別講演 クアオルト（健康保養地）への期待－健康増進の視点から－

講師／公益財団法人 健康・体力づくり事業財団

理事長 医学博士 下 光 輝 一 氏

- 特別講演 クアオルトと街づくり

講師／社団法人 日本観光振興協会 理事長 見 並 陽 一 氏



『上山型温泉クアオルト構想』

発 行／平成26年1月

編 集／山形県上山市クアオルト推進室

〒999-3192 山形県上山市河崎一丁目1番10号

TEL 023-672-1111 FAX 023-672-1112

URL／<http://www.city.kaminoyama.yamagata.jp/site/kurort/>

